

感動の時間をあなたへ——。



プラハ放送交響楽団&ヴァディム・ホロデンコ

チェコの三大オーケストラの1つとして高い評価を受けるプラハ放送交響楽団。プログラムはスメタナの「モルダウ」やドボルザークの交響曲第9番「新世界より」のほか、ヴァディム・ホロデンコをピアノに迎え、ラフマニノフのピアノ協奏曲第2番をお送りします。

【チケット発売中】全席指定 S席7500円、A席6500円、B席5500円、U-25チケット3000円※限定50枚（S、A、B席選択可）

鈴木雅明パイプオルガン・リサイタル

バッハ演奏の第一人者として名声を博し、同ホールのパイプオルガン選定委員としてオルガン引き渡し式の記念演奏も務めた鈴木雅明。特別なオール・バッハ・プログラムで、オルガン設置20周年を高高かに祝います。

【チケット】全席指定 S席5000円、A席4000円、U-25チケット2000円（S、A席選択可）（4月12日発売）



©Marco Borggreve

二兎社「ザ・空気 ver. 2 誰も書いてはならぬ」

「空気を読む」という社会現象をテレビ局の報道現場を通して描き、現代日本を覆う奇妙な「空気」の正体に迫った話題作「ザ・空気」の続編。今回は国会記者会館が舞台です。出演は安田成美や真島秀和、松尾貴史ら。



安田成美 真島秀和 松尾貴史



©SUPERKIDS

ズーラシアンプラス 音楽の絵本 ジャイブ

子どもたちに大人気の動物たちによる金管五重奏団「ズーラシアンプラス」。今回は、ドラムのドールと、ピアノのベス、サクスのラトゥールが参加。いつものクラシックとはひと味違うにぎやかなジャイブバージョンでお届けします。

【チケット】全席指定 一般2500円、1歳~中学生1000円※0歳は無料で入場できます。1歳以上はチケットが必要（5月24日発売）

小山実稚恵ピアノ・リサイタル

9月15日(土)15時~ 市民文化ホール大ホール

人気・実力ともに日本を代表する、盛岡ゆかりのピアニスト、小山実稚恵。チャイコフスキー国際コンクール、ショパン国際ピアノコンクールの二大コンクールに入賞以来、今日に至るまで、コンチェルト、リサイタル、室内楽と、常に第一線で活躍し、2017年度、紫綬褒章を受章。同ホールでは開館記念ピアノ・リサイタル以降、折々の演奏会に出演し、繊細かつ豊潤な響きで観客を魅了し続けてきました。今回は開館20周年の節目にピアノへの思いが詰まったプログラムをお届けします。

【チケット】全席指定 S席4500円、A席3500円、U-25チケット1500円（S、A席選択可）（6月1日発売）



©Wataru Nishida



萩原聖人 植田圭輔 細見大輔 ラザール石井

石井光三オフィス・プロデュース 「7 Days Judgement ~死神の精度」

9月30日(日)時間未定 2回公演 盛岡劇場メインホール

指令を受けてヤクザの藤田のところへやってきた死神が、7日間で藤田の死を「可」か「見送り」かをジャッジします。伊坂幸太郎の小説が原作の、クールで軽快な舞台を9年ぶりに再演します。

盛岡市文化振興事業団は、世界的に有名な歌劇場の公演やオーケストラによるコンサート、豪華キャストによる演劇、展覧会などをご用意しております。至福のひとときをどうぞお楽しみください。

*チケットの発売日や料金などの詳細は、決まり次第、市文化振興事業団のホームページなどでお知らせします
*都合により、内容などが変更になる場合があります。あらかじめご了承ください

20周年記念スペシャル・ガラ・コンサート

11月11日(日)時間未定 市民文化ホール大ホール

さまざまな舞台芸術分野で活動する市民の皆さんと、仙台フィルハーモニーオーケストラの共演で、同ホール開館20周年を記念したスペシャル・ガラ・コンサートをお届けします。

三浦一馬キンテート2018 ガーシューウィン&ピアソラ

11月25日(日)15時~ キャラホール

三浦一馬がキンテート（バンドネオン五重奏）で贈るガーシューウィンとピアソラの名曲の数々。タンゴにとどまらず、クラシックやジャズなどにも果敢に挑戦する三浦一馬ならではの豪華2本立てプログラムです。



©井村重人

姫神寄席「春風亭一朝 古今亭志ん輔 二人会」

11月18日(日)14時~ 姫神ホール

五代目・春風亭柳朝の総領弟子で「粋でないせな江戸落語」との定評がある本格派の春風亭一朝。師匠の三代目・古今亭志ん朝の芸を継承し、磨き抜かれた話芸と見事な人物描写で見る者を引き込む古今亭志ん輔。それぞれ二席ずつの口演で、江戸前の正統派の至芸をたっぷりお届けします。



春風亭一朝 古今亭志ん輔

東京オペラシティリサイタルシリーズ 「B→C (ビートゥーシー：バッハからコンテンポラリーへ)」

12月16日(日)14時~ 市民文化ホール大ホール

世界で活躍するオリジナル楽器のスペシャリストを擁し、鈴木雅明が結成したバロックオーケストラと合唱団による盛岡公演。クリスマスシーズンに世界中で演奏されるヘンデルのオラトリオ「メサイア」をお楽しみください。



©Marco Borggreve

佐藤彦大ピアノリサイタル 来年3月16日(土)15時~ 市民文化ホール小ホール

実力ある若手日本人アーティストによるリサイタルシリーズ「B→C (ビートゥーシー)」。

盛岡市コレクション展2018 生誕100年「海野経の世界」+交友の作家たち

来年2月16日(土)~3月10日(日)

盛岡に生まれ、盛岡の芸術文化振興に貢献した洋画家・海野経（1919-98年）の生誕100周年を記念し、市所蔵の海野経作品や交友の作家による作品など約100点を一堂に展示。戦後の少年たちや農村・漁村で働く人々の姿を描いた作品、野山に咲く花や果実の静物作品などには、海野経の優しく温厚な人柄が表れています。入場無料。



海野経「松籟」

展覧会 Exhibition

各展覧会は、市民文化ホール展示ホールで開催します。
※月曜休館（月曜が祝日の場合は開館）

田中達也 MINIATURE LIFE展

7月14日(土)~9月2日(日)

プロコッリーが巨大な森に、クロワッサンが青空に浮かぶ雲に——。ミニチュア写真家・田中達也の作品は、インスタグラムから火が付き、昨年のNHK連続テレビ小説「ひよっこ」のタイトル映像にも起用されました。本展では、作品の額装展示のほか、ジオラマ化による遊び心たっぷりの小さな世界を体感できます。

【前売料金】一般・大学生800円、小学~高校生500円（5月発売予定）



プロコッリー1本分のサバンナ ©Tatsuya Tanaka

レオナルド・ダヴィンチ没後500年記念企画 「レオナルド・ダヴィンチ もう一つの遺産展」

12月1日(土)~来年1月20日(日)

2019年はレオナルド・ダヴィンチの没後500年に当たります。「最後の晩餐」「モナリザ」などの名画を残したダヴィンチは、科学技術・土木工学も熱心に研究しました。本展では、「レオナルドの手稿」や素描（いずれもファクシミリ版）、再現された大型模型を通じて「ルネサンスの科学技術者」というダヴィンチのもう一つの顔に迫ります。



自画像